

# 特別賞

団体名  
特定非営利活動法人  
北区リサイクラー活動機構

分類別  
資源循環・  
環境パートナーシップ

プロジェクト名

都市と農村「食」の交流事業  
(生ごみたい肥と農産物の資源循環事業)

## ◆都市と農村をつなぐ

生ごみたい肥と農産物の資源循環を通じた、都市と農村の新しい関係をつくるため、平成8年、北区リサイクラー活動機構は、区内の小・中学校 64 校が実施している学校給食残飯等の生ごみの"たい肥化"と、群馬県の甘楽町有機農業研究会をつなぐ「食の交流事業」を開始しました。

## ◆コンポスト回収事業

区内小・中学校 64 校では、給食残飯等の生ごみを 24~30 時間かけて約 1/7 に減容し、コンポスト化。そのコンポストを米袋に詰め、毎月第 4 木曜日に区の委託業者のトラックで、「北ノ台エコ広場館」(北区リサイクル活動施設)に集め一次保管されます。

そうして保管されたコンポストを、甘楽町

から野菜を運んできた戻り車でまた甘楽町へ運ぶという仕組みをつくりました。

## ◆たい肥(コンポスト)を利用し、 有機農産物をつくる

甘楽町に運ばれたコンポストは、町内農家 21 名で構成された「甘楽町有機農業研究会」の施設で※二次発酵し、完熟たい肥を作ります。そのたい肥を利用し、研究会員の農地にて有機野菜を生産しています。

※二次発酵(甘楽町の場合)・・・

コンポスト 1 に対し、おがくず・もみガラ等を 4 の割合で混ぜ、トラクターで切り返しながら、3~6 ヶ月かけて完熟したたい肥にしている

## ◆食材利用の促進

甘楽町で出来た有機野菜は、有機野菜ふるさと便やデパート等に流通するほか、北区内



の小・中学校や病院等の給食に使用して食材利用の促進を図っています。また、区内3ヶ所(富士見橋・北ノ台・滝野川西)のエコ広場館で毎月第2日曜日に開かれるフリーマーケットでも販売し、その収益で野菜とコンポストの輸送費もまかっています。

◆お互いの顔の見える信頼関係

また、親子ふるさと体験、スポーツ交流、

地域の祭り、イベントへの参加や、宿泊交流、市民農園での体験学習など"人と人"との交流も活発です。こういった活動によって、お互いに「顔の見える関係」をつくり、信頼関係を築いてきました。

循環型社会の形成と、自然環境や人体への負荷が少ない有機農業・有機農産物への関心の高まりにあったこのリサイクルシステムは、現代に合った仕組みとして評価されています。



参加団体名称  
 特定非営利活動法人  
 北区リサイクラー活動機構

代表者氏名 竹腰 里子

担当者氏名 唐澤 宏之

お問い合わせ先

住所 〒114-0014

東京都北区田端5-16-1

URL <http://www12.ocn.ne.jp/~recycler>

TEL 03-3824-3196

FAX 03-3821-2468

E-mail

団体紹介

北区が進めている「エコライフ」政策に、平成2年から「北区リサイクラー」として関わり、活動拠点としての「エコ広場館」づくりを進めてきました。

「エコ広場館」は、「環境・・・エコロジー」「経済・・・エコノミー」そして「出会い・・・エンカウンター」がつくる、持続可能なまちづくりの活動拠点として、現在、区内3ヶ所に設置されていて、北区リサイクラー活動機構は、その自主管理運営団体として活動を推進しています。

「エコ広場館」では、フリーマーケットの他にも、さき布織り、洋服・和服リフォーム、パッチワークなど、ものを大切にする発想からはじまった教室や、友禅染、はた織り、お茶、紙すきなど、日本の伝統文化に根ざした教室もあり、活動は多岐にわたっています。